

# 来年4月から 大学の学部を、 改組再編します（構想中）。

愛知淑徳大学は、学園創立以来の「10年先20年先に役立つ人材の育成」を教育目標に掲げ、常に時代と社会を先取りして先進的な教育を実践してきました。

現在、愛知淑徳大学は、長久手キャンパスに文学部、現代社会学部、コミュニケーション学部、ビジネス学部の4学部、星が丘キャンパスに文化創造学部、医療福祉学部の2学部の計6学部を編成しています。

この学部編成を、さらに合理的で充実した学部のあり方の可能性を検討し、全学的な合意を得て、2010（平成22）年4月から、8学部に改組再編する構想を推進しています。

この構想計画は、長久手キャンパスには文学部、人間情報学部、心理学部、メディアアプロデュース学部、健康医療科学部、福祉貢献学部の6学部、星が丘キャンパスには交流文化学部、ビジネス学部の2学部とし、8学部で編成しようとするものです。

新しい学部編成に合わせて、一部の新学部の入学定員の増加も計画しています（収容定員増加の認可申請中）。

なお現在の6学部編成は、在学生全員の卒業時点まで継続維持されます。

計画中の8つの新学部の教育内容などを紹介します。

## 文学部

本学の中で最も長い歴史を誇る文学部は、現在、国文学科、英文学科、図書館情報学科、教育学科の4学科から構成されています。このうち図書館情報学科を基礎とした人間情報学部の設置計画によって、本学部は国文学科、英文学科、教育学科の3学科となります。

文学部の教育目標を、人間探求を基本理念として、人間そのものを問い、人間の多様な営みを考究し、人間や社会・文化の有り様につ

いて理解を深めることを目指して再編します。

この教育目標に基づき、学部共通科目群や3学科の専門教育科目群を見直します。同時に、意欲ある学生には中学・高等学校教員免許と小学校教員免許を合わせて取得できる支援を行うなど、豊かな人間性と実践力を兼ね備えた教員の養成に重点を置いた教員養成科目の一層の拡充・体系化を図る計画です。

## 人間情報学部

現在の文学部図書館情報学科は1985年に開設し、図書館情報学、情報メディア、情報処理・情報システムの3領域にわたる分野の教育研究を行い、高度情報化社会に対応できる高度な情報技術と専門知識を有する人材を輩出してきました。

を目的として、心理学系、人間工学系、図書館情報系を中心としたカリキュラムを編成する人間情報学部人間情報学科を開設する計画です。

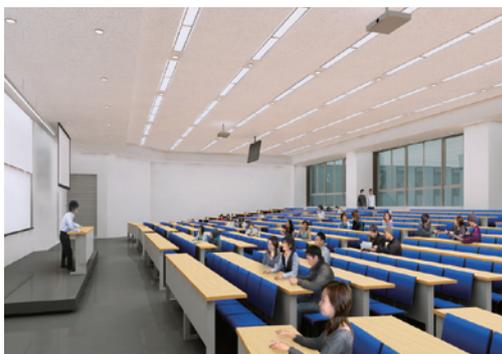
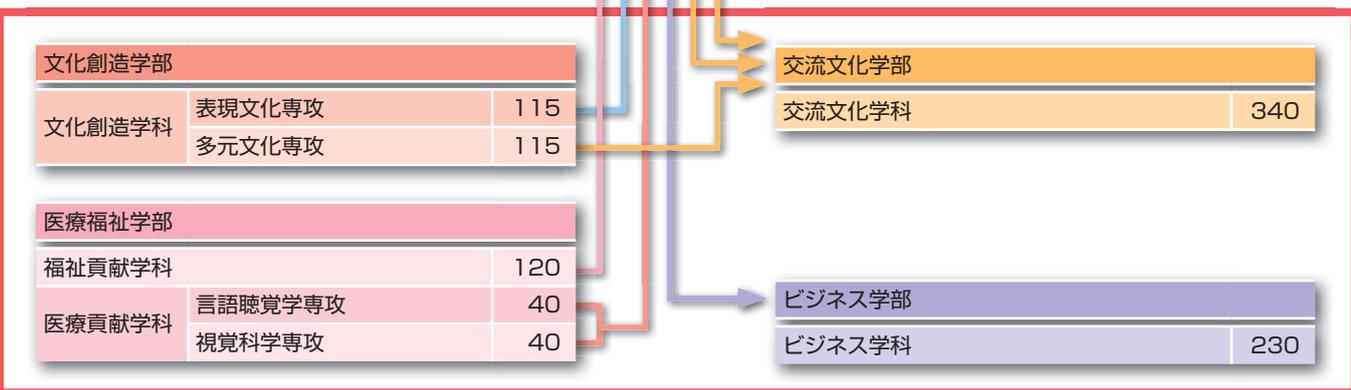
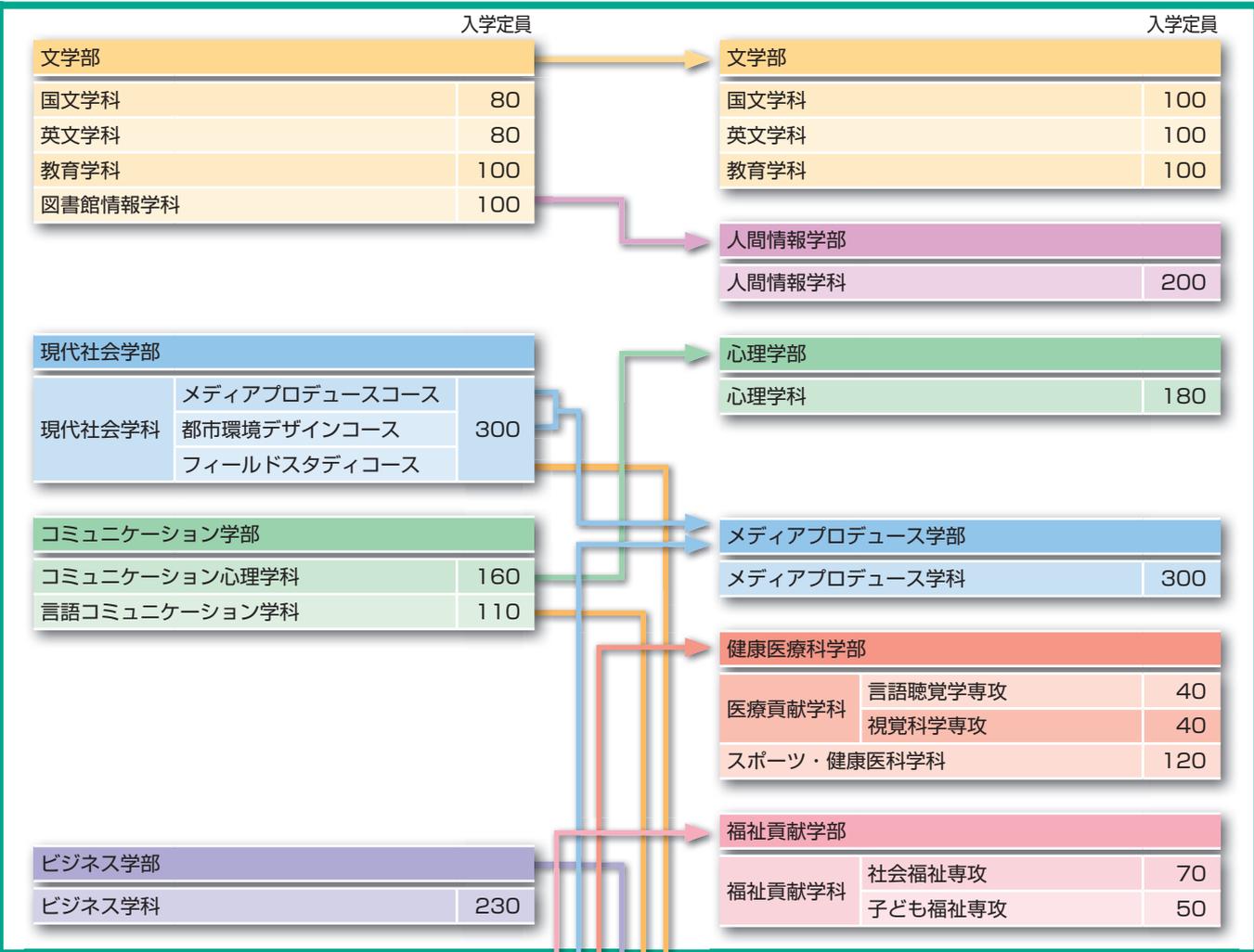
本学部は、人間の特性を十分に理解し、情報の取り扱いやモノづくりに活かすことのできる人材、並びに情報とモノのあり方、人間の感覚・能力との関係を明確に理解し、その知識・技術をモノづくりや利用環境づくりに活かすことができ、獲得した知識を具体的な成果物として創造できる能力のある人材の養成を目指します。

平成 **21** 年度  
現在の学部編成

平成 **22** 年度  
再編後の学部編成

長久手キャンパス

星が丘キャンパス





## 心理学部

本学部は、現在のコミュニケーション学部コミュニケーション心理学科を、心理学部心理学科と、新しく独立した学部として再編します。心の問題が大きくクローズアップされる現代社会のニーズに応え、現在のコミュニケーション心理学科の3

つの現代心理学の主要な教育研究領域である生理・認知心理学領域、社会心理学領域、臨床心理学領域に、近年最も注目されている生涯発達概念を中心とした発達心理学領域を加えた4領域から、幅広く段階的に探求することを目指します。

本学部は客観的なデータの収集・分析・考察を通して、科学的に人の心を理解することにより、論理的な思考能力や実践力を養い、実社会の多様な問題を科学的に捉える論理性を身に付けるほか、他者への理解力や適切な自己表現力など、将来どのような道に進んでも役立つさまざまな能力を育み、「ひ

と」が「ひと」らしく生きられる社会を創造できる人材の育成を目指します。さらに臨床心理士第1種指定大学院の認定を受けている本学大学院心理学研究科との連携を強化し、臨床心理士の資格取得も強力にサポートします。

## メディアプロデュース学部

現在の現代社会学部現代社会学科メディアプロデュースコースと都市環境デザインコースの2コースと、文化創造学部文化創造学科表現文化専攻を基礎として、メディアプロデュース学部を設置する計画です。

本学部はメディアプロデュース学

科の1学科から成り、クリエイティブライティングコース、メディア表現コース、都市環境デザインコースのゆるやかな3コース制で編成します。教育目標は、メディアを放送などの狭い意味ではなく、言語、映像、建築デザインといった多様な現代メディアを包括して、社会を動かす

重要な媒体として捉えること。表現スキルを磨くことも重要ですが、創造的な活動に最も大切な何かを表現し、いかに発信すべきかといった理念や発想のための土台として、社会的視野を広げ、芸術的素養を身に付け、科学的分析力を身に付けることを学びの基盤とします。ゆるやかな3つのコース制によって、多様なメディアに関する幅広い

知識と高度な専門性を合わせて修得できるようなカリキュラムを編成しています。本学部では時代のニーズを読み、アイデアを提案できる人材を育てるために、小説や詩といった自己表現のツールとして、個々人の表現能力を磨くことに加えて、チームを構成して一つの事業を完成するプロデュース能力の養成も目指します。

## 健康医療科学部

現在の医療福祉学部福祉貢献学科、医療貢献学科言語聴覚学専攻と視覚科学専攻は、「違いを共に生きる」という本学の教育理念を医療と福祉の分野で実現すべく、2004(平成16)年4月に開設されました。

この医療福祉学部は、医療福祉サービスの社会的充実を教育理念に掲げ、人権・健康・予防を中核とした教育研究を展開してきました

た。中でも医療貢献学科は、コミュニケーション障害がい者の生活を支援する言語聴覚士と視能訓練士の養成を通して地域の医療に貢献してきました。

健康医療科学部は、高齢者や障がい者を始め、全ての人の生活の向上に貢献することを理念に掲げ、言語聴覚学専攻と視覚科学専攻を擁する医療貢献学科に、新たに健康やスポーツに関する幅広い学

際領域を探索するスポーツ・健康医科学科を加えた2学科から構成します。本学部では、健康医療科学分野の一般的な知識・技能を全ての学部生が身に付けるための学部基礎科目群を設けて、人体の構造やメカニズムを理解する基礎医学、病気の成り立ちや治療法を学ぶ臨床医学の専門分野を中心に、感覚・知覚・認知のメカニズムに迫る心理学や、体力づくりに欠かせないスポーツ科学、食品と健康の関わりを学

ぶ栄養学など、幅広い学問領域を横断的に学習します。さらに基礎から応用、発展に至るカリキュラムを通して、言語聴覚学専攻と視覚科学専攻では、言語聴覚士、視能訓練士として、医療、保健福祉、教育の諸機関など幅広いフィールドで活躍できる人材の育成を目指します。スポーツ・健康医科学科は、医療分野に留まることなく、スポーツ、食品、教育を始めとする幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指します。





## 福祉貢献学部

現在の医療福祉学部福祉貢献学  
科は、社会福祉士や精神保健福  
祉士の養成を通して、地域の福祉、  
医療に貢献してきました。

近年の少子高齢化によって、高齢  
者の介護や就労、子育て支援など  
の新しい福祉的課題が現れている  
現在、福祉というものをより幅広い

視点で捉えられる人材の育成のた  
めに、学科から新たに福祉貢献学  
部として生まれ変わり、社会福祉

専攻と子ども福祉専攻の2専攻を  
擁する福祉貢献学部の1学科から  
成る福祉貢献学部を開設する計  
画です。

本学部の教育目標は、福祉と教

育を融合し、社会に貢献する幅広  
い能力を養うことを基本に置いて  
います。学びの第一歩は人間理解

を深めることであり、人間を多角  
的に見つめ、人はいかに生きるべ  
きか、人と人との関わりはどうあるべ  
きを考察します。

さらに社会福祉士や精神保健福  
祉士、幼稚園教諭などの国家資格  
取得に向けた学習を通して、全て

の人が貢献し合う未来を生み出す  
ために必要なカラを育みます。

本学部は社会福祉や子育て支  
援の専門知識を備えた人材として、  
さまざまな分野の一般企業、公的  
機関、NPOなどで活躍したり、社  
会福祉や精神保健福祉士、保育士  
や幼稚園教諭などの資格を取得し、  
専門家として活躍できる人材の育  
成を目指します。

## 交流文化学部

現在の現代社会学部現代社会  
学科フィールドスタディコース、コミュ  
ニケーション学部言語コミュニケーション  
シオン学科、文化創造学部文化創  
造学科多元文化専攻を融合し、さ  
らに観光分野をプラスして、星が丘  
キャンパスに誕生するのが、交流文  
化学部です。

本学部は交流文化学科の1学科  
からなり、本学の理念である「違い

を共に生きる」に基づき、日本の国  
内、海外を問わず、さまざまな文  
化背景を持つ人々との交流を通し

て、社会を広い視点から眺め、複雑  
な現在社会の課題を政治・経済・教  
育・文化・言語などの側面から多面  
的に捉え、国際性・獨創性・協調性  
を養うことを目的としています。

本学部では、入学時に学習・研究  
分野を特定せずに学びをスタート

多様な学問にアプローチした後、学  
生一人ひとりの希望・興味・関心適  
正に応じて自らの研究領域を絞り  
込み、専門性を深めていきます。

このため、専門教育の中核には、  
言語コミュニケーション、言語教育、  
国際教養、社会貢献、観光の分野の  
もとに12の専攻プログラムが用意  
されています。こうした段階的・体  
系的な4年間の学びにより、幅広い  
教養と各分野の専門的知識やスキ  
ルを体得し、実用的な言語運用能

力、異文化理解能力、社会科学  
的情報分析能力を習得できるよう  
に、多彩なジャンルを幅広く学ぶり  
ベラルアーツと専門教育の統合によ  
る新たな大学教育を目指していま  
す。

さらに星が丘キャンパスに設置す  
るビジネス学部と相互に開放する、  
それぞれのカリキュラムを自由に履  
修できる新しい教育システム「星が  
丘モデル」がスタートします。

## ビジネス学部

現在のビジネス学部は、2004  
(平成16)年に、本学の理念である  
「違いを共に生きる」とそれを具  
現化する「地域に根ざし、世界に開  
く」「役立つものと変わらないもの」  
のテーマに基づき、コミュニケーション

学部ビジネスコミュニケーション学  
科を基礎として、長久手キャンパスに

開設されたビジネス学科の1学科  
から成る学部です。本学部は改組  
再編計画によって、星が丘キャンパス  
に交流文化学部の設置に合わせて、  
移設されます。

本学部の教育目標は、現代社会  
でコミュニケーション能力やプレゼン  
テーション能力、認識力や分析力な

ど、豊かな教養をベースにさまざま  
な分野で必要とされる専門性と実  
践力を備え、あらゆるビジネスシー  
ンで臨機応変に行動できるビジネ  
スパーソンの育成であり、開設当初  
から不変です。

本学部では、まずはビジネスに必  
要な基礎知識と語学、パソコン・情  
報、簿記などのスキルの修得を、そ  
の後、学生自身が自分に合った専

門性、実践力を身に付けることが  
できるように、体系的・段階的なカ  
リキュラムが組まれています。

さらに交流文化学部と学部の枠  
を超えて相互に学ぶことができる  
「星が丘モデル」の導入によって、多  
様性、多文化への理解、国際社会で  
必要な広い視野とバランス感覚、語  
学力なども習得できます。

- 詳細については、本学の入試広報室へ  
お問い合わせください。
- 本学のホームページでも紹介しています  
ので、ご覧ください。

### 愛知淑徳大学 入試広報室

TEL (052) 781-7084 (直通)  
URL <http://www.aasa.ac.jp/>